

国民平和大行進 NEWS

2025年原水爆禁止国民平和大行進鹿児島県実行委員会 6月24日(火) No.1

2025年国民平和大行進 鹿児島県出発集会に120人！

2025年国民平和行進「沖縄～長崎」コースの鹿児島県内行進の出発集会が24日10時より開かれました。今年の平和行進は、被爆80周年の年であり、NPT再検討会議を来年に控え、ウクライナ・ガザだけでなくイランへの空爆をアメリカが行うなど世界各地で戦火が広がる中で平和で公正な世界をめざしての行進になります。市民社会が、平和を訴え、核兵器なくその声を大きく上げることが大切です。

集会では、福丸裕子実行委員長が、今日の情勢下でのこの行進の重要性を語っていただき、つづいて来賓として鹿児島県原爆被爆者協議会2世の会の岡元均さんの発言をうけました。さらに実行委員会参加団体からの決意表明が、県商工団体連合会の山内太志郎事務局長、県国公の西森功議長、新日本婦人の会県本部の加治屋理恵事務局長、最後に日本共産党の県書記長まつざき真琴さんが発言しました。集会参加者は、15団体120名を超えたところまで確認しました。出発前には、2つのテレビ局（NHK、KTS）と南日本新聞・朝日新聞から取材がありました。県国公の全労働から15人の参加がありました。若者がおおくて喜んでいましたね。

24日は、蒸し暑かったけど雨も日差しも強くはなく歩きやすい日でした。これから残り10日間の鹿児島コースが始まりました。酷暑の日、雨の日など天候も安定しない季節です、体調管理をしっかりして、しっかり行進しましょう。



出発前の記念写真



決意表明の一人、新婦人加治屋さん



市役所前のスタンディング



中央駅前に到着、頑張ってたくさんの方が最後まで参加されました。

鹿児島市へ要請を23日に行いました

県本土の行進に先立ち、23日、鹿児島市長及び市議会議長あてに要請を行いました。福丸実行委員長はじめ5人での要請に日本共産党鹿児島市議団も同行していただき、懇談・要請を行いました。総務課長及び副議長の対応でした。鹿児島市の平和行政をいっそうご奮闘いただくよう話してきました。昨年、原水禁世界大会へのメッセージが届いていなかった話をしましたが、送ったはずだけど……。今年の方は今作成中ということで今年は大丈夫なことが確認できました。

※今年も県実行委員会メンバーで何とかニュースの発行をがんばります。